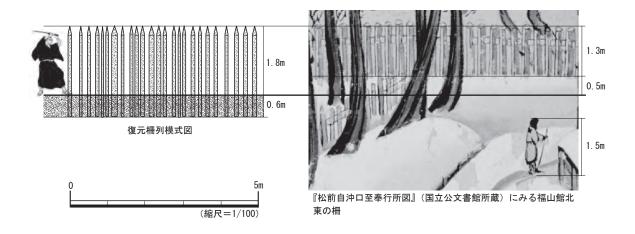
	柱穴直径度数分布表			柱穴直径基礎統計量		;	柱間距離度数	 分布表	柱間距離基礎統計量	
	直径	(m)	度数	最小値	0.04	Ī	直径(m)	度数	最小値	0.07
	0.05	未満	6	第1四分位	0.08	(0.05 未満	0	第1四分位	0.16
	0.06	未満	4	中央値	0.09		0.10 未満	0	中央値	0.21
	0.07	未満	16	第3四分位	0.10		0.15 未満	5	第3四分位	0. 28
		未満	25	最大値	0. 15		0.20 未満	23	最大値	0.70
		未満	31	平均値	0. 088		0. 25 未満 0. 30 未満	30 20	平均値	0. 229
		未満	18	標準偏差	0. 0193		0.35 未満	17	標準偏差	0. 100
		未満	13	MA I MIDZI	0.0100		0.40 未満	5	74. 1 11147	
		2 未満	4				0.45 未満	2		
		未満	3				0.50 未満	2		
		1 未満	1				0. 55 未満 0. 60 未満	1 0		
		未満	1				0.65 未満	0		
		3 未満	0				0.70 未満	1		
		. >1411/4								10-1-1
	0.25			Shapiro-Wilk #	0.25	0.25		Shapiro-Wilk 検定によ る正規性の適合度は		
相対度数				る正規性の適合 p-value = 0.00					カ正衆性の適 p-value = 1.	
	0.20			p-value - 0.00 棄却される	13943		0.20		棄却される	
			1	1		(9			
	2		/			相,				
	0.15					相対度数	.0. -		1	
						度 数			6	
	0.10		/			9	0.10	/	\square	
	Ū		1			`	⁻ /	1	\	
	90.0	/				Ļ	م ا		\rangle	
	0.0						60.09	1		
	0.00	8					00.0			• • •
		0.04 0.	.06 0.08	0.10 0.12 0.14	0.16		0.0	0.2	0.4 0	.6
		0.0.		穴直径 (m)	50		0.0		間距離 (m)	· -
		al		11 TW FF 2014 A H 4F	LNA start -te . L. Aufe &	L FT - 2 /64 . I	NA P. For	1 88% 4	at Am transmitter Feb.	

- 註1 上記のヒストグラムは、群馬大学社会情報学部青木繁伸氏の作成した「fit.normal」関数を統計解析環境「R vel3.2.1」上で 実行し、得られたグラフに加筆したものである。
- 註2 曲線は理論正規分布曲線 ○は期待値

図 34 南西部の柵列柱穴直径及び柱間距離の統計量とヒストグラム



- 註1 柱材長は広葉樹の一般的な玉切り寸長の2.4m(8尺)とし、発掘調査成果に基づき0.6mを地下埋設とした。
- 註 2 柱材径は $0.05m\sim0.15m$ の範囲内で、図 33 「柱穴直径」度数分布の示す比率により各材径を配した。
- 註 3 柱間距離は $0.0 \text{m} \sim 0.5 \text{m}$ の範囲内で、図 33 「柱間距離」度数分布の示す比率により配置した。
- 註4 『松前自沖口至奉行所図』は手前人物の身長を1.5mと仮定して縮尺を設定した。俯瞰で描かれていること、人物より柵列が遠方にあることから縮尺の再現は不精確であり、およその目安とする。
- 註5 松前町の平均積雪深は0.5~0.6mとされることから(松前町史編集室1984,p44)積雪深を0.5mと推測した

図 35 復元柵列模式図と『松前自沖口至奉行所図』にみる福山館北東の柵の比較